



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	高齢化が進み救命に対する市民ニーズが高まる中、自動体外式除細動器（AED）の公共施設への設置は、必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	自動体外式除細動器（AED）の取扱い講習を実施することで、救命に携わる市民と職員が増員し、安心感を得られる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	自動体外式除細動器（AED）の取扱いを含めた普通救命講習は、指導員の資格が必要であるため消防職員が実施する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	普通救命講習の指導員資格は、退職後3年と定められているため、日々雇用により人員確保が期待できる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		自動体外式除細動器（AED）の更新を5年と定めているので、その時期に更新を含め検証する必要がある。		

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				配備計画の策定	機器の設置、取扱講習会の開催	取扱講習会の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	6,080	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	18,240	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	24,320	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	6,903	6,903	6,903	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	6,903	31,223	6,903	0	0

## 4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 自動体外式除細動器（AED）を平成20年度において、配置できなかった施設への市民の設置要望もあり、それらを検討するとともに、自動体外式除細動器（AED）取扱講習を平塚市職員に継続して実施していく。	
平成21年度の実行方針	
平成20年度に配置できなかった幼稚園・保育園等について引き続き検討していく。	
課長コメント	平成20年度は、主たる市公共施設に自動体外式除細動器（AED）が配備完了となるが、設置要望のある施設についても検討し、AEDとAEDを取り扱える職員を拡充していきたい。